

教育理念 <自立・共生><共育・迅速>



自己の成長を実感し 共に幸せに生き抜く力を育む学校

- 児童像： 自分に自信をもって行動し、人を大切にできる子ども
- 教職員像： 子どもの未来を考え、自己変革を続ける教職員
- 保護者像： 本校に通わせてよかったと協力する保護者
- 地域像： 「本校は地域の誇り」と支えてくださる地域



「幸せを創り出す力」（自分で課題を見出し、論理的に思考して追求し、新しい解決策を創造し、発信して実行する力） 基盤として **人権感覚・心身の健康・基礎学力・コミュニケーション力**

東京都人権尊重教育推進校

人権尊重教育の推進 「自分を大切に・仲間を大切に」の徹底

- ・「互いを認め合い、差別をしない・させない・見過ごさない子ども」を育てる活動（校内研究：「ちがいを認め 共に生きるには～関わり合いを大切に～」）
- ・自己評価力、相互評価力の向上（自己肯定感・自尊心を高めるために、めあての設定と振り返りの設定）
- ・南町人権週間の実施（作品作り・お話し）
- ・人権教育プログラムを活用した指導（人権を尊重した指導の徹底・人権を尊重する子どもの育成）
- ・心の通う学級専科経営

つよく

心身共に健康で勤労と責任を重んじる子ども

① 体力向上への意識と実践力を高める活動

- ・体育科授業の改善（みんなが楽しく力いっぱい運動する）
- ・全校取組（なわとび・持久走・コオディネーショントレーニング）

② 健康な体への意識と実践力を高める活動

- ・「自分の健康は自分で守る」健康教育（健康保持・食育の推進）
- ・足育の実践（年3回）

③ 責任感と自立を促す実践

- ・生活指導 4つの「あ」（挨拶・集まり・後始末・安全）の徹底
- ・係当番活動・委員会活動等で一人一人が役割を果たす活動の充実

④ 危険予知・回避能力を高める活動

- ・情報モラル教育の充実（SNS 東京ルール・練馬区ルール）
- ・「自分の命は自分で守る」安全教育の充実（災害時・不審者対応等）
- ・教室内の安全管理・環境整備

かしこく

意欲的に学習し自主性と創造性の豊かな子ども

⑤ 「分かる・できる授業」による基礎基本の定着

- ・ICT 機器の活用 ・ねらいの明確な提示 ・分かりやすい発問
- ・授業内容を確認できる板書 ・振り返りができるノート指導

⑥ 「主体的・対話的で深い学び」を促す授業

- ・「朝のモジュール学習」で言語能力の確実な育成  
「話を一度で聞き取る力・自分の思いや考えを話す力」
- ・自ら課題を発見し、既存の知識・技能を活用しながら解決に向かう学習の仕方【課題発見⇒追究⇒解決（新しく創り出す）⇒振り返り】

⑦ 読書の習慣化と読書教育の充実

- ・区立図書館との連携、学校図書館・学級文庫の充実活用
- ・朝読書の全校取組（月1回・読書旬間中は週3回）

あたたかく

人間性豊かで人権を尊重する子ども

⑧ 「よりよい生活を創る力」を高める活動

- ・子どもの自主的・実践的な活動で自治的な能力を高める。  
なすことによって学ぶ特別活動の充実（学級会月1回以上）
- ・「みかんの日」交流活動による、コミュニケーション能力の向上（温かい言葉遣い・思いやり）
- ・「あこがれの6年生」による異学年交流の充実（ふれあい班活動）
- ・集団生活における規範意識の向上（善悪の判断力の向上）

⑨ いじめや不登校への適切・迅速な対応

- ・いじめを「しない・させない・見逃さない・許さない」指導
- ・道徳科・特別活動の時間で生命尊重の学習の実施

⑩ 「学校2020レガシー」（オリパラ教育）の実践

- ・人権課題「障害者」「外国人」で理解を深める。

「言語障害通級学級設置校・特別支援教室拠点校」として

特別支援教育の充実（通常の学級と「ことばの教室」・「つつじルーム」との連携）

「子どもがあこがれる教師」として

- ① 子どものよさや可能性を引き出す肯定的な指導を徹底する。「認め、励まし 笑顔でほめる」体罰根絶
- ② 常に子どもに寄り添って、温かな人間関係を築く。
- ③ 互いの指導力を高め合い、教育課題解決に向けて学び続ける。
- ④ 教育公務員としての自覚をもって職務にあたる。（情報の発信・収集 誠実な対応 サービスの厳正）

「みんなの子どもをみんなで育てる」（ご家庭や地域とともに）

- ① 家庭での基本的な生活習慣の確立（早寝早起き・朝ごはん、主体的な家庭学習習慣）
- ② 保護者・地域を生かした教育活動の推進（学校・地域連携事業の活用）
- ③ 幼保小連携教育（近隣保育園との交流活動）
- ④ 小中一貫教育の推進（開進第二中学校・向山小学校との人権教育の推進）